

各位

2021年1月吉日

Rare Disease Day 2021 シンポジウム －社会的偏見の解消に向けて－

日時： 2021年2月14日(日) 15:00 から 16:40 (14:45より入室可能)
開催方法： オンライン配信
登壇者： 【キーノートスピーチ・パネリスト】
東京大学先端科学技術研究センター 准教授 熊谷晋一郎先生
大阪大学大学院医学系研究科 教授 酒井規夫先生
【パネリスト】
NPO 法人 IBD ネットワーク理事 秀島晴美様
網膜色素変性症当事者 パラ競泳アスリート 富田宇宙様

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

武田薬品工業株式会社とRDD 日本開催事務局は、2021年2月14日(日)に「Rare Disease Day 2021 シンポジウム －社会的偏見の解消に向けて－」を共催いたします。本シンポジウムは Rare Disease Day 2021 のイベントの一つです。

2020年は、武田薬品工業株式会社が主催し、RDD 日本開催事務局の協力のもと、Rare Disease Day 2020 のイベントの一つとして「Rare Disease Day 2020 シンポジウム －日本における希少疾患の課題解決に向けて－」を開催いたしました。

希少・難治性疾患はその認知度が低く、そのことによって社会的偏見が生じています。偏見が存在することで、患者さんが多くの人々にご自身の経験を語ったり、患者さん同士で交流したりすることに対して消極的になってしまうことがあるとともに、希少・難治性疾患に対する誤解や偏見が検査や確定診断に対する障壁となっていると想定されます。

本シンポジウムでは社会的偏見をテーマとして取り上げ、社会的偏見の研究における第一人者である東京大学先端科学技術研究センター 准教授 熊谷晋一郎先生、および先天代謝異常症・遺伝疾患を専門とされ臨床医である大阪大学大学院医学系研究科 教授 酒井規夫先生にキーノートスピーチをいただきます。また、パネルディスカッションにはNPO 法人 IBD ネットワーク理事 秀島晴美様、網膜色素変性症当事者でパラ競泳アスリートである富田宇宙様をパネリストとしてお招きし、希少・難治性疾患領域の課題の一つである社会的偏見の現状や課題、そして解消に向けて議論いただきます。

皆様におかれましてはご多用の折恐縮ではございますが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

【Rare Disease Day 2021 シンポジウム開催概要】

【テーマ】 社会的偏見の解消に向けて

【日 時】 2021年2月14日(日) 15:00 から 16:40 (14:45より入室可能)

【開催方法】 オンライン配信

【登壇者】

＜キーノートスピーチ・パネリスト＞

東京大学先端科学技術研究センター 准教授 熊谷晋一郎先生

大阪大学大学院医学系研究科 教授 酒井規夫先生

＜パネリスト＞

NPO 法人 IBD ネットワーク 理事 秀島晴美様

網膜色素変性症当事者 パラ競泳アスリート 富田宇宙様

＜パネルディスカッション進行＞

RDD 日本開催事務局 西村由希子

【共 催】 武田薬品工業株式会社

RDD 日本開催事務局

【参加方法】

参加申込先: rdd@asrid.org (RDD 日本開催事務局)

*メールタイトルに「RDD シンポジウム参加希望」と記してください。

*メール本文に以下をご記載ください。

貴社名・貴団体名

参加を希望される方のご芳名

メールアドレス・電話番号 (複数で参加される場合は、代表1名の方で結構です)

*いただきました個人情報はシンポジウムの参加案内にのみ使用いたします。

2月12日(金)に事務局より参加方法をご連絡いたします。

【本件のお問合せ先】

武田薬品工業(株) JPBU コミュニケーション部 松井

メールアドレス shigeyuki.matsui@takeda.com TEL:03-3278-3022

RDD 日本開催事務局 江本

メールアドレス:rdd@asrid.org TEL:050-5437-9045

(お問い合わせはできる限りメールでお願いいたします)
